

教えて Dr.!!

産婦人科部長 藤島 一典 医師



外陰部にできた柔らかい腫れ物

- ①アテローム(皮下に溜まった垢と脂の塊)の、変性、化膿
- ②バルトリン腺(膣の入り口にある分泌腺)の、のう胞、膿瘍
- ③膣脱、子宮脱(靴下を脱いだときのように、膣壁から膣が外に裏返ったもの)

①と②は、比較的若い人に多く、殆どのものが痛みや圧迫感を伴います。治療は、切開して溜まっているものを排出させる、あるいは、手術によって摘出したり、開口部を作って溜まらなくしたりすることによって治療します。感染がある場合は、抗生剤を投与します。

③は、高齢者に多く前膣壁が膀胱を伴って脱出してきたものが多く膀胱瘤といえます。いきんでも尿が出なかったり、残尿感や頻尿など膀胱炎のような症状を伴ったりします。子宮の下垂が強くなり後膣壁が直腸壁を伴って脱出してくると排便が困難になってきます。症状が進むと子宮も膣壁も全部出っ放しの状態になります。

治療は、手術をしない場合は、ペッサリーとってドーナツのような装具を膣内に入れておくことによって子宮や膣壁を元の位置に整える方法があります。手術をする場合は、緩んだ膣壁だけを形成して膀胱を持ち上げる手術、子宮も摘出して膣壁を吊り上げる手術、そのまま子宮を吊り上げる手術等があります。

外陰部のかゆみ

高齢者のかゆみの原因の多くは、皮膚の乾燥とホルモン低下による膣外陰部の萎縮によるものがほとんどです。性交痛を伴うことも多く、治療は、保湿、抗ヒスタミン剤軟膏、ホルモン剤等を投与します。

若年者～成人では、月経時のナプキン使用によるかぶれ、下着、コンドームやゼリーによるアレルギー性の皮膚炎にはステロイド軟膏で治療します。カビによる外陰部皮膚炎は、膣炎を伴っているため、抗真菌剤の膣錠と軟膏クリームで治療します。

糖尿病教室のお知らせ

8月8日(木) 14時～14時30分

「油断は禁物 脂肪肝」

場所：高北病院 3階会議室

講師：保健師

症状なく、知らない間に肝臓にたまる脂肪。そうならないために、また、今以上悪くならないために、ぜひ多くの方にお越しいただき、お話を聞いていただければと思います。参加された方に、健康パスポートのヘルシーポイント(グリーンシール)を1枚差しあげます。



年に一度はカラダのチェックをしよう!

人間ドック 特定健診・がん検診

健(検)診日	時間	健(検)診の種類
毎週木曜日	午前中	人間ドック 特定健診 がん検診
毎週火曜日		特定健診

なお、一般健診、企業健診はこの限りではありませんので、健診係までお問い合わせください。

お申し込みは…

申込書にご記入のうえ、高北病院窓口(健診係)へ『持参』、『郵送』または『FAX』でお申し込みください。

問 健診係



第2期佐川町健康増進計画・食育推進計画

今月のテーマ：野菜

8月31日は
野菜の日

～佐川町の疾病状況～

佐川町の平成22年から平成26年までの5年間の死因別死亡割合をみると、①悪性新生物(がん)、②心疾患、③脳血管疾患の順となっており、**生活習慣病と総称される疾患が原因で58.6%の方が命を落としている**状況です。

《野菜パワーで生活習慣病予防》

①ビタミン

抗酸化ビタミンは血液を健康にして**動脈硬化やがんの予防、老化防止**に役立ちます。

②食物繊維

血中コレステロール値の低下、血糖値の上昇を抑える作用があり**生活習慣病を予防**する効果が認められています。また排便をスムーズにし、**大腸がん**のリスクを低減します。

③ミネラル

野菜に多く含まれるカリウムには、余分なナトリウム(食塩)を体から排出する働きがあり、**高血圧を予防**します。また、**骨粗鬆症を予防**するカルシウムも多く含んでいます。

1日に350gの野菜を食べましょう

小鉢5皿分(1皿約70g×5皿=350g)



毎日プラス1皿をこころがけよう!!



現状は

小鉢1皿分足りていません!!

高知県民の平均は

男性 282.0g

女性 282.4g

(H28年度高知県民健康・栄養調査より)

野菜を積極的に摂ることが毎日の健康につながります。ぜひ心がけてみてください!

問 健康福祉課 地域ふれあい係 電話 22-7716

広告

小児科・内科・整形外科

細木病院グループ

詳しくはホームページへ↓

社会医療法人 仁生会 日高クリニック

診療科目	受付	月	火	水	木	金	土	日
小児科・内科	午前	○	○	休診日	○	○	○	休診日
	午後							
整形外科 (隔週土曜)	午前	--	--	休診日	--	--	○	休診日
	午後							

診療時間：午前9時～12時30分
午後2時～17時30分
(休診日：日曜・水曜・祝祭日・年末年始)

健診・各種検査
予防接種など
ご相談下さい!



日高クリニック 院長
松本 和博 (小児科・内科)
日本小児科学会小児科専門医



地域の皆様に安心していただける小児科・内科医療を提供します。なんでもお気軽にご相談ください!

外来受付 ☎ 0889-24-7785

日高村 日下小学校東どなり 日高村本郷滝ノ前7